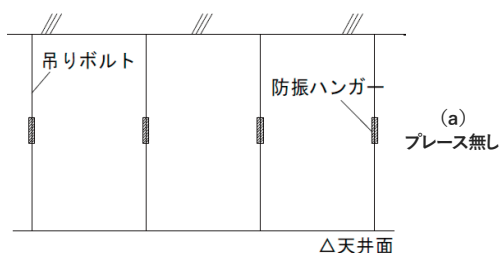


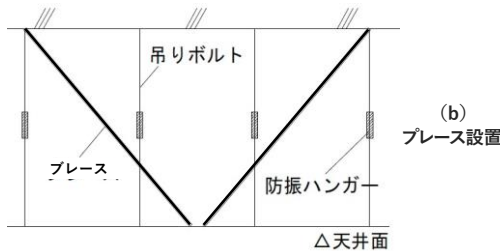
## 耐震 + 防振機能を持った耐震ブレース工法

### 開発経緯

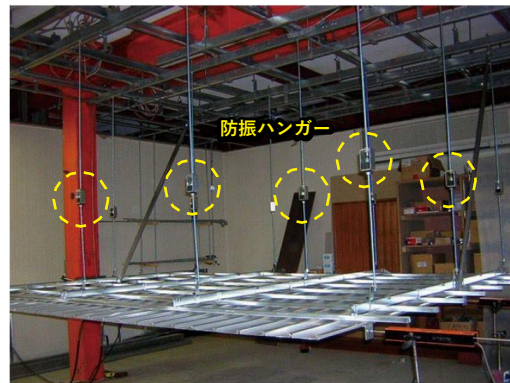
- 建築物の吊り天井や吊り下げ設備の防振対策としては、吊り型防振ゴムを吊りボルトの中間に設置する工法が一般的(図a)



- 構造体への剛接合を目的としたブレースを設置した場合、防振効果が阻害される可能性がある(図b)



吊り型防振ゴム(防振ハンガ)設置例



【従来の防振天井】

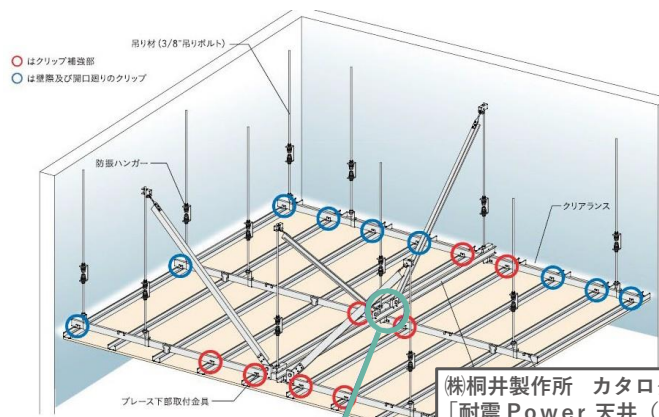
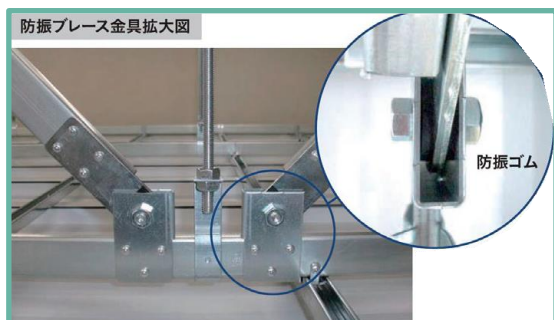
### 特長

- 防振効果(※)

	従来型防振部材	ブレース (防振ブレース金具使用)	ブレース(通常仕様)
振動伝達率 (天井面/スラブ面)	0.70	1.10	2.16

※ 荒井智一ほか: 日本建築学会大会梗概(2009年)「金属パネル天井の耐震性に関する研究(その6) 防振天井の振動絶縁効果現場測定」より

- 耐力・剛性 ⇒ **耐力、剛性は耐震ブレース工法と同程度**



(株)桐井製作所 カタログ  
「耐震 Power 天井 (防振タイプ)」  
より抜粋

### 採用実績

- マンション、ホテルで多数実績あり

### 適用条件

- 許容荷重: 2500N / 一对、取付角度: 30~60度

### 知的財産権

- 特許第5132456号

### お問い合わせ

お問い合わせ・製造・販売 株式会社桐井製作所 開発部 03-3539-6650